

水戸済生会総合病院を受診・入院された患者様

当院は下記の研究を実施しています。この研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供することを希望されない場合は、下記の問い合わせにお問合せ下さい。

研究課題名	認知症ケアサポートチーム介入の現状と課題 ～認知症高齢者の危険な行為への対応から～
研究責任者	浅井 佳子
研究の目的	入院という環境変化は、認知症高齢者にとって大きな負担となり、せん妄症状やBPSD(行動・心理症状)を生じやすく、時に医療者への危険な行為に繋がる可能性もあります。危険な行為は、患者様の安全確保や治療継続を困難にするだけでなく、患者様、医療者への身体・精神的な負担となります。危険な行為4症例からその背景を身体的・精神的・環境的因子から分析し、認知症ケアサポートチーム活動と共に振り返り危険な行為への対策を考え、低減に繋げていきたいです。
調査データの該当期間	2020年4月から2022年3月まで
研究の方法 (研究対象者)	2020年4月から2022年3月までに報告された認知症高齢者の危険な行為4症例
研究の方法(研究のデザイン)	電子カルテによる後ろ向き研究
研究の方法 (使用する情報)	・患者背景：年齢、性別、認知症の有無、入院経過 ・危険な行為の状況とその背景となる情報
個人情報の取り扱い	研究対象者が確定できないよう匿名性に配慮いたします。また研究の成果は、院外発表を予定していますが、その際も対象者が確定できないよう匿名性に配慮致します。この研究で知り得た情報は、本研究以外使用いたしません。
利益相反	臨床研究における利益相反(COI:Conflict of Interest)とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断に歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬会社や医療機器メーカーからの研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。 なお、本研究の利益相反については倫理委員会で審査され、適切に管理されています。
問い合わせ先	水戸済生会総合病院 〒311-4198 茨城県水戸市双葉台3丁目3番10 TEL：029-254-5151(代) 研究責任者 看護部長室 認知症看護認定看護師 浅井 佳子